

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名			部名	市民文化部			
	19054-1	歴史街道遺産活用事業			室名	文化振興局まちなみ文化財室			
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興			財	会計	一般会計		
	基本施策	04:歴史文化の継承			務	款	教育費		
	施策の方向	01:東海道歴史文化回廊の創造			科	項	社会教育費		
体系	戦略プロジェクト				目	目	文化財保護費		
②目的・概要	対象	市民・文化財所有者							
	目的	「東海道歴史文化回廊保存・整備基本計画」に基づき、地域文化財の周知を図り、広く市民活動を行える環境を整備する。							
	概要	文化財案内看板の設置。 既存散策パンフレットの増刷。							
③指標	①	名称	設置した説明番等の数	計画値	27年度		28年度		
		補足		実績値					
			単位	3		件			
	②	名称		計画値					
		補足		実績値					
			単位						
	③	名称		計画値					
		補足		実績値					
			単位						
	④	名称		計画値					
		補足		実績値					
			単位						
④事業の計画・実績	年度計画				年度実績				
					・文化財説明看板等3箇所設置した。 「瑞光寺権現柿」「京口門跡」「羽柴秀吉亀山城攻め本陣跡」 ・既存散策パンフレットを増刷した。				
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	758	平均給与額×③
		国庫支出金		500	486	費	一般職員人件費 ②	758	
		県支出金					所要人員 ③	0.10	
		地方債					臨時職員人件費 ④		
		その他					受益者負担額 ⑤		受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥
		一般財源		1,375	1,357				
		再掲	翌年度への繰越額		0	0			
		掲	前年度からの繰越額		0	0			
		総人件費		①	758				
		総コスト		⑥	2,601				
⑤事業の評価	【事業の成果】 ・市内の文化財の見学者等の利便を図るため、「東海道歴史文化回廊保存・整備基本計画」「亀山市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財説明看板等を3箇所設置するために国交付金を利用した。 ・発行済み散策パンフレットの配布を進め、不足分を増刷し、見学者等の要望に応えた。							総合判定 A 順調に進んだ	
	【反省点・課題】 ・説明番等の必要箇所や、住民からの要望箇所が多く、市民や見学者等の要望に対処しきれていない。								
	【改善の方向性】 ・計画的に説明番等の設置を進めるため、国・県補助事業などを積極的に活用する。 ・住民との協働等による説明板設置やパンフレット作成を進める。								
事業目的の妥当性：適切				有効性：適切		最終評価確認者：まちなみ文化財室長 山口 昌直			